




日時 場所	令和3年12月24日(金) 13:45~14:50 呉市役所 752・753会議室
研修名	第2回研修 「人材育成」について
講師	広島県西部教育事務所 総務課長 土肥 正暁 様 主査 小谷 修 様
協議	<p>(1) 見通しを持たせる工夫について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各事務長より各事務センター実践資料をもとに人材育成に向けた取組の発表</li> </ul> <p>(2) 根拠を持って仕事をする習慣をつけさせる工夫について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各事務長より実践している内容について具体的な説明</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
講評(抜粋)	<p>土肥課長 様</p> <p>○行政職の武器として根拠は大事である。根拠を踏まえて判断できるような考え方を育てるように育てる。実務のみを教えることに力を入れてしまい考え方を教えなければ、自分で判断できない人を作ってしまう危険性もある。ただし、教える側の力量も必要となる。</p> <p>○頭ごなしに指導しないように気を付ける(パワハラに注意)。</p> <p>小谷主査 様</p> <p>○「〇〇だからできる」といった先入観を持つことも危険である。期待を下回ったときに言葉が厳しくなってしまう。</p> <p>○指導する際どこの部分を指導するのが大切である。</p> <p>事務職の仕事最低限行えているのか。完成してなければ完成するまでやらせる工夫をする。自分で完成させることが大切である。また、完成するまでのプロセスや時期などの具体的改善点を示して指導をすることも大切である。また、なぜ、指導を受けるのかしっかりと伝える。(お互いが納得できるようにするため。)</p> 
感想(抜粋)	<p>○期待値と現実とのギャップについてのお話が特に心に残りました。初任者に対する期待値が高すぎていないか、どこまで到達していればよしとするかの基準を他の事務長さん方にお聞きする機会があるとよいなと感じました。</p> <p>○一年間、一ヶ月、一週間と長期・中期・短期の視点で見通しを持たせることにより不安を取り除き、人材育成をされていることがとても参考になりました。</p> <p>考え方を育てなければ「自分で判断できない人を作ってしまう」という言葉が印象に残りました。</p> <p>○「仕事」ができていなかったら、それは指導していかななくてはならない、と話されたことが強く心に残りました。そこは基本であり、最も重要なところであると改めて思いました。</p> <p>○西部教育事務所の方々に、呉市の事務センターや事務長会の様子を伝えることができ、新たな形の研修になったと思います。人材育成については、今後も事務長会での交流を通して研修を深めていきたいと考えます。</p>